

女性の生涯にわたるキャリア 開発を支える教育システム に向けて

平成22年9月20日

APEC分科会2 人材育成・教育

女性の生涯にわたるキャリア開発を支える教育システム

三輪 建二

日本女性学習財団理事

お茶の水女子大学

○ 文部科学省

「女性のライフプランニング推進事業」

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)

「大学生の就業力育成事業」

○ 国立大学協会教育・学生委員会「大学におけるキャリア教育のあり方」(平成17年)

キャリア発達科目、インターンシップが「大学の全教育活動の中に位置づけられる取り組み」

○ 日本学術会議「大学教育の分野別質的保証の在り方について」(平成22年)

大学と職業との接続の在り方



I お茶の水女子大学の事例

(1) 学部段階

- ・就職活動支援
- ・現代GPプログラム(平成19~21年度)を契機

a キャリアレポート放送局 b キャリアカフェ(carrier cafe)



(2) 「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」プログラム

平成22年度～、文部科学省特別経費採択事業

学部段階:

「お茶の水女子大学論」のロールモデル講演会
「女性リーダーへの道(実践入門編)」では企画
開発プレゼン力

大学院段階:

「アカデミック女性リーダーへの道(実践編)」
研究企画・資金調達・プレゼンのコツを学ぶ



Ⅱ 課題

① 学校教育法の教育目的に「職業」なし

- ・義務教育、高等学校を経て高等教育機関に至るまでのキャリア教育の位置づけが不十分

② 学部：M字型曲線前提のキャリア教育

- ・適性検査、自己発見能力シート：短期的・技術的
- ・コンピテンシー、社会人基礎力という観点での能力開発が見えにくい。



③ 社会人女性の再教育：M字型曲線 前提の再就職支援プログラム

- ・パートや非正規雇用が中心

④ 教育機関と民間企業、自治体との連携 プログラムが不足



Ⅲ. 女性のための総合的なキャリア 開発支援システムに向けて

① 「第三段階の教育」機関であり職業教育 機関、キャリア教育機関であるという自覚

- ・就業プログラムを就職課でなく全学に位置づける

② 学部段階における、M字型曲線の是正 を視野に入れた、女性にとってのキャリア 教育のプログラム開発

- ・高等教育機関、民間企業など、自治体合同のキャリア教育プログラムの開発とその実施

③ 社会人女性の再教育における、M字型 曲線の是正を視野に入れたキャリア教育

- ・企業人女性のエンパワーメントにつながるプログラム開発
- ・日本女性学習財団(女性の教育・学習フォーラム、次世代育成・家庭教育セミナーなど)と大学との連携によるプログラム

④ ラウンドテーブル(お茶の水女子大学など)

- ・社会人と学部生との協働参画プログラム
- ・学部生:社会人女性のロールモデル
- ・社会人女性:自らの職業キャリアを物語り、省察し、現場で活かしていくサイクル

